

団 議 団  
視 察  
市 政  
行 政

# 古代のロマンを現代・未来に つなげる縄文博物館

2月12・13日、党市議団は、長野県長和町(人口6088人)の黒耀石体験ミュージアムと茅野市(人口5万5483人)の尖石縄文考古館を、国指定となった庄和地域の「神明貝塚」の保存施設建設の参考とするために視察しました。

## 調査・研究が続く 遺跡の中の博物館

長和町一帯は87万年前の噴火でできた黒耀石の産地で、旧石器時代には割れ口が鋭く加工しやすい黒耀石を求めて、人々が集まり、一帯には黒耀石の掘り出し・加工・流通に関係した遺跡が数多く残されています。

矢じりなどの石器に加工された黒耀石は、全国各地に持ち運ばれました。

星箕峠の黒耀石縄文鉱山は国の史跡に指定され、町では歴史遺産の調査・研究、保存・活用を目的に「黒耀石体験ミュージアム」を開設しました。発掘調査が続けられる遺跡の中のミュージアムとして、隣接する明治大学黒耀石研究センターと共同で調査・研究を続けています。

また、自然の素材から、様々な道具を作り出した縄文人の知恵を学ぶことを目的に、石器づくりや、勾玉づくりなどの、体験学習も行っており、2018年度は16000人が訪れました。今後は、①継続的な調査研

究 ②人材育成 ③教育連携と地域振興の関わりなどが課題です。

## 参加・体験型の 新しい博物館

茅野市では、1995年に棚畑遺跡出土の「土偶」が国宝指定されたことを契機に、尖石遺跡一体に植栽や復元住居の建設など、史跡公園としての整備を進め、そのセンターとして「尖石縄文考古館」を建設しました。

日本最古の国宝土偶「平成



仮面の女神



縄文のビーナス

の「ビーナス」と縄文時代後期の国宝土偶「仮面の女神」の二つの土偶を中心として、市内から出土した遺物2000点余りが展示され、八ヶ岳山麓の縄文文化の素晴らしさと繁栄を伝えていきます。

博物館の基本機能である収集・収蔵、調査・研究、展示、教育普及のそれぞれの活動の充実と共に、市民参加型博物館として学芸員を7名配置。

学習コーナーや体験の場を設けて、学術研究の拠点として、観光客や家族連れはもとより、考古学の専門家にも有効に利用されています。年間利用者数は約5万5千人で、その内2万人が学習・体験を利用しています。

2つの博物館とも遺物の展示だけでなく、遺跡の調査・研究に力を入れ、体験学習などを通じて、楽しく分かりやすく利用者に伝えていきます。

市立医療センター TEL735-1261(夜間毎日、土・日・祝日)内・外科系

救急電話相談#7119

2/23(日) 岩本小児科医院(小児科系)谷原 3-12-1 TEL795-8796

三須医院(内科系)粕壁東 1-11-12 TEL752-2200 正仁堂整形外科クリニック(外科系)南中曽根 1070 TEL738-0641

2/24(休) 春日部在宅診療所ウエルネス(小児科系)内牧 3701-1 エミナス 1F TEL792-0772

みくに中央クリニック(内科系)中央 1-56-18 TEL737-5400 いかわ耳鼻咽喉科医院(外科系)大倉 378-4 TEL746-8733

休日の当番医